

第17回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成30年8月28日(火) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局企画総務部長(局長代理)
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】宇川連合区長会会長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市女性連絡協議会理事
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊副隊長(中隊長代理)
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

- I 経ヶ岬通信所における状況等
 - (1) 工事等の状況
 - (2) 交通事故の状況等
- II 住民の安全・安心
 - (1) 交通安全に対する取組
 - (2) 交通誘導及び巡回警備
- III 日米交流及び地域振興策の状況
 - (1) 日米交流
 - (2) まちづくりへの支援
- IV その他
 - (1) レーダー停波に関する事案

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 地域の代表者の皆様からの経ヶ岬通信所に対する多大なご支援に心から感謝申し上げます。
- ・ 米陸軍工兵隊と工事業者は、生活関連施設の工事を進めている。8月10日、経ヶ岬通信所は商用電力の受電を開始し、装置が安心で安全な業務基準に沿うよう、各々の装置の確認作業を実施している。経ヶ岬通信所の中隊長として、工兵隊司令官と共に地域の安心と安全に確保に努め、近畿中部防衛局と共に、工事が順調に進むよう、また工事の進捗状況の情報を地元責任者の方にお伝えしていくよう取組んでいく。経ヶ岬通信所は常に地域の安全に重点を置いている。
- ・ 経ヶ岬通信所は京丹後市で行っている毎年恒例のハロウィンイベントに向けた開催準備を始めた。素晴らしいイベントになるよう、地域の多くの方々のご参加をお待ちしている。交通安全講習会に

ご尽力いただいている京丹後警察署に感謝申し上げます。

- ・ 経ヶ岬通信所の中隊長として基地で働く兵隊、請負会社及び日本人職員の安心・安全の確保にも責任を持っている。私の職員は地域に掲げられた“US Troops out now (米軍、今すぐに出ていけ)”という心ない表現の看板について懸念の声をあげている。様々な考えの方がいることは理解するが、さすがに安息の場所に掲示されると、司令官としてスタッフの士気に影響が出かねないと懸念している。基地内で働くスタッフや工事関係者、車両について撮影している方がいて、私の職員は基地内でのプライバシーについても懸念を持っている。
- ・ 経ヶ岬通信所は、全ての基地職員に対し、安全運転の強化に努めている。安全運転の重要性を呼びかけるため、私たちは経ヶ岬通信所チーム及び工事業者に対する安全運転の注意喚起を毎週継続して行っていく。
- ・ 皆様の地元地域にて奉仕していくこと、またこれらのパートナーシップそして永続する友好関係の構築を継続していくことを楽しみにしている。

○出席者の意見等の概要

(1) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 7月27日に米軍関係者が事故を起こしたとのことだが、事故があった場合、従来は連絡会の説明事項や資料に記載があった。今回は記載がなく、交通事故のところが空欄となっている。先ほど口頭で事故についての説明があったが、本会議の資料はインターネット上で市民にも公開されているため、事故があったなら記載していただくとありがたい。交通安全対策を十分講じられていることはよく理解しているが、事故があったことは別の事項としてしっかり公表してほしい。安全講習の徹底により、事故件数が少なくなってきて安心しているが、今回の事故を受け、更に注意喚起及び指導の徹底をしていただきたい。

(地域住民代表)

- ・ 安全・安心連絡会において交通事故の問題は主要な議題の一つである。今般の事故はすでに発生から1ヶ月が経っているが、本来は速やかに事故を把握し、この会議の場で対策を議論するべきだと思う。速やかに確実な情報を提供してほしい。

(京都府)

- ・ 交通安全対策は引き続きの課題である。事故の件数自体は少なくなってきていると認識しているので、対策を継続してもらいたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 電柱破損の事故については、在日米陸軍に照会中であり、現段階では資料に記載していない。この場でいつまでもとは申し上げられないが、情報が得られた際は、関係自治体に提供する。
- ・ 安全運転の指導徹底については在日米陸軍にも伝達しており、運転免許を持ち、軍内部の研修を受けた者だけが運転を許可されていると聞いている。その上で、経ヶ岬における安全・安心対策の一つである交通安全講習会の参加や交通安全教育 DVD も積極的に活用してもらえよう呼びかけ

ている。交通安全講習会等の取組を継続するとともに、累次の機会に米側に対し注意喚起するなど、交通事故の未然防止に努めていく。

(近畿中部防衛局)

(2) 商用電力

【意見要旨】

- ・ 騒音問題の解決には商用電力の導入が不可欠である。導入の完了は10月末までの見込みとのことであるが、一日も早い実現をお願いする。

(京丹後市、丹後広域振興局)

【回答要旨】

- ・ 高電圧機器への商用電力導入は本年10月末までに導入が完了する見込みと聞いているが、一日でも早い完成に向け米側に働きかけていく。

(近畿中部防衛局)

(3) レーダー停波に関する事案

【意見要旨】

- ・ 2回目の関係者会議をされると聞き、対策をされているということは理解した。他方、7月17日、「米軍の運用上やむを得ない場合を除き、要請を認めるものと承知しているとし、停波されないケースがあると認めた」という、平成26年の京都府との合意と矛盾する新聞報道があったので、困惑している。要請があれば確実に停波が実施されるようにして頂きたい。

(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍は、我が国の公共安全に妥当な考慮を払って活動すべきものであることはいうまでもなく、停波要請を受けた際には、かかる考え方の下、適切に対応するものと承知している。実際に過去3年間、消防本部等から経ヶ岬通信所の制限区域内における航空機の通過について要請を受けた際は、意思疎通が円滑に行われずに遅れた事例を除き、問題なく速やかに要請が認められている。当局としては、停波要請手続の確実かつ迅速な実施が大変重要と考えており、引き続き米軍と消防本部等の関係機関の間で実効性のある定期的な訓練を実施していくので、ご理解頂きたい。

(近畿中部防衛局)

(4) その他

【意見要旨】

- ・ 「米軍、今すぐに出ていけ」との看板の件は、一部の方の行為であるが、申し訳ないと思う。気にしないでくれと言うわけではないが、全員がそう思っているわけではないので、よろしくお願いしたい。

(地域住民代表)

以上